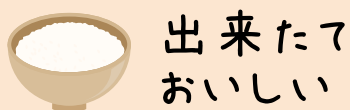


見えてきた！ 中学校の全員給食

未来への先行投資を

これまで市教育委員会は、中学校は「家庭からの弁当を基本とする」としていました。今年3月に教育長が交代し「国・府は全員給食をめざしており、この方向性に準じることが前提」と方針が転換されました。市長も「エアコンの次は中学校給食」と言っています。この夏、小中学校すべてにエアコンが設置されました。人生最大の発育期の中学生に給食は必要です。



出来たて
おいしい

配送時間がありません。
少数なので、冷凍食品を使わなくて済む・アレルギー対応や地産地消を進めやすい。作っている人の顔が見えます。



コストが
安い

厨房機器の寿命は約15年。現状では15年後の生徒数はいまの6割に。自校式は業務用機器を使用できるため、長期的に見ればセンター方式よりも安く運営できます。配送費がありません。



自校調理で
実現しよう



リスクの
低減

食中毒の被害は最小限。台風など警報時にも柔軟に対応できます。大規模災害時には避難所の炊き出し施設に。



小学校も

子どもが減っても、いまの給食センターの機器は専用設計のため中学校全員給食の提供はできません。ちょうど大規模改修の時期が迫っています。これを機に、小学校も自校方式に。

※自校方式＝各学校の中に調理室がある。センター方式＝1カ所で大量に調理し各校に配送。

人口減少の中 子育て支援はまったなし

あなたの声を市に届けませんか

市役所 HP トップページに、「お問い合わせはこちら」のバナーがあり、先に進むと担当課別の選択があります。

市長へは「秘書課」、教育委員会へは「教育指導課」に書き込めば、あなたの声を届けることができます。また回答を HP に公表することを求めることもできます。



市民の声が動かしてきました

署名 1 万 3102 筆を提出

私たち「中学校全員給食を求める会」は、みなさんと力を合わせ 2017 年 9 月議会に請願署名 13102 筆を提出しました。また現行の「弁当給食」の試食会の実施や学校給食日本一と誇りにされている宝塚市長をお招きした学習会などにも取り組んできました。



市や議会を動かす力に

教育委員会の方針転換もあり 2019 年 9 月議会では、すべての会派が代表質問で中学校給食について取り上げました。

市民の願いが着実に市当局と議会を動かしています。

教育としての給食は 自校方式こそ

人とのつながりの中ではぐくまれる自校調理の給食を、河内長野の未来を担う中学生に提供できるよう、引き続きお力をお貸しください。



このチラシに対するご意見などは、表面に記載のメールアドレスにお寄せください。「中学校全員給食を求める会」の HP (右 QR コード) もご覧ください。

